

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン

《 具体的取組 編 》

序 章

連携中枢都市圏ビジョンの策定に当たって

第 1 章

八戸圏域の概況

第 2 章

八戸圏域定住自立圏・連携中枢都市圏の取組

第 3 章

圏域の中長期的将来像

第 4 章

連携協約に基づき推進する具体的取組

平成 29 年 3 月 22 日 策定
令和 3 年 3 月 23 日 変更

八 戸 市

目 次

第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組	1
1 圏域全体の経済成長のけん引	5
2 高次の都市機能の集積・強化	25
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	35
4 推進体制	70
付属資料	71
八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会開催要綱	72
八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員名簿	73
八戸圏域の「愛称」と「ロゴ」について	74
(別冊)	
序章 連携中枢都市圏ビジョンの策定に当たって	1
1 策定の趣旨	1
2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称	1
3 具体的な取組期間	1
第1章 八戸圏域の概況	2
1 圏域を構成する市町村の概況	2
2 圏域の結びつき	4
3 土地利用の状況	7
4 人口の動向	8
5 産業の動向	23
6 都市機能の集積状況	40
7 地域資源の状況	48
8 交通	52
第2章 八戸圏域定住自立圏・連携中枢都市圏の取組	54
1 定住自立圏に関する主な経過	54
2 連携中枢都市圏に関する主な経過	55
3 連携事業の取組状況（令和3年1月31日現在）	57
4 その他（普及啓発事業、調査事業等、八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟）	107
第3章 圏域の中長期的将来像	119
1 圏域の課題	119
2 目指す将来像	122
3 人口の将来展望	123

第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組

連携協約項目		事業名		連携する町村						
				三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
役割	連携施策									
1 圏域全体の経済成長のけん引 (27事業)	a 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備 (2事業)	1	八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業	○	○	○	○	○	○	○
		2	地域未来投資促進法に基づく基本計画推進事業	○	○	○	○	○	○	○
	b 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成 (7事業)	3	テレマーケティング関連産業立地促進費補助金	○	○	○	○	○	○	○
		4	企業立地促進条例に基づく各種奨励金	○	○	○	○	○	○	○
		5	イノベティブ産業集積促進事業	○	○	○	○	○	○	○
		6	産学官共同研究開発支援事業	○	○	○	○	○	○	○
		7	革新的ものづくり企業連携促進事業	○	○	○	○	○	○	○
		8	地域企業支援体制強化事業	○	○	○	○	○	○	○
		9	はちのへ創業・事業承継サポートセンター事業	○	○	○	○	○	○	○
	c 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大 (16事業)	10	地場製品の販路拡大事業	○	○	○	○	○	○	○
		11	八戸都市圏交流プラザ事業	○	○	○	○	○	○	○
		12	マチニワ・マルシェ	○	○	○	○	○	○	○
		13	ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ	○	○	○	○	○	○	○
		14	海外販路拡大事業	○	○	○	○	○	○	○
		15	知的財産権対策支援事業	○	○	○	○	○	○	○
		16	求人・求職情報等無料ウェブサイト運営事業	○	○	○	○	○	○	○
		17	地域事業所人材獲得等支援事業	○	○	○	○	○	○	○
		18	企業誘致セミナー開催事業	○	○	○	○	○	○	○
		19	農業情報提供事業	○	○	○	○	○	○	○
		20	新規就農者向け支援施策の情報発信体制の一元化	○	○	○	○	○	○	○
		21	農作業マッチング制度構築事業	○	○	○	○	○	○	○
		22	南郷そば振興センター共同利用事業					○		
		23	畜産業及び畜産関連産業振興事業	○	○	○	○	○	○	○

連携協約項目						事業名		連携する町村						
								三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
役割		連携施策												
1	圏域全体の 経済成長の けん引 (27事業)	c	地域資源を活用した 地域経済の裾野拡大 (16事業)	24	漆産業振興事業	○	○	○	○	○	○	○		
				25	漁業就業支援事業	○			○	○		○		
		d	戦略的な観光施策の 展開 (2事業)	26	八戸広域観光戦略推進事業	○	○	○	○	○	○	○		
				27	グリーン・ツーリズム推進 事業	○	○	○	○	○				

連携協約項目			事業名		連携する町村							
					三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	
役割		連携施策										
2	高次の都市機能の集積・強化 (12事業)	a	高度な医療サービスの提供 (3事業)	28	ドクターカー運行事業の充実・強化	○	○	○	○	○	○	○
				29	八戸市総合保健センター運営事業	○	○	○	○	○	○	○
				30	高度医療従事者育成事業	○	○	○	○	○	○	○
		b	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築 (6事業)	31	八戸圏域公共交通計画推進事業	○	○	○	○	○	○	○
				32	美術館運営事業	○	○	○	○	○	○	○
				33	八戸ポータルミュージアム事業	○	○	○	○	○	○	○
				34	ブックセンター事業	○	○	○	○	○	○	○
				35	屋内スケート場運営事業	○	○	○	○	○	○	○
				36	多賀多目的運動場運営事業	○	○	○	○	○	○	○
		c	高等教育機関等と連携した地域の人材育成 (3事業)	—	eコマース人材育成事業 (平成29年度から令和元年度まで)	○	○	○	○	○	○	○
				37	学生まちづくり助成金制度	○	○	○	○	○	○	○
				38	学官連携地域シンクタンク	○	○	○	○	○	○	○

連携協約項目			事業名		連携する町村						
					三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
役割	分野	連携施策									
3	圏域全体の生活関連機能サービスの向上 (43事業)	A 生活機能の強化に係る政策分野 (34事業)	医療体制の充実 (6事業)	39	医師派遣事業	○	○	○	○		○
				40	ドクターカー運行事業	○	○	○	○	○	○
				41	救急・母子周産期医療に関する医療人材育成事業	○	○		○		○
				42	周産期医療体制周知事業	○	○	○	○	○	○
				43	不妊専門相談センター事業	○	○	○	○	○	○
				44	AED普及促進事業	○	○	○	○	○	○
			子育て支援の充実 (6事業)	45	一時預かり保育事業	○	○	○	○	○	○
				46	ファミリーサポートセンター事業	○	○	○	○	○	○
				47	子育てつどいの広場事業	○	○	○	○	○	○
				48	子育てサロン支援事業	○	○	○	○	○	○
				49	地域子育て支援拠点事業	○	○	○	○	○	○
				50	児童虐待防止対策事業	○	○	○	○	○	○
			高齢者福祉の充実 (5事業)	51	高齢者福祉合同研修会等の開催	○	○	○	○	○	○
				52	あんしんカード事業	○	○	○	○	○	○
				53	救急医療情報キット配付事業	○	○	○	○	○	○
				54	成年後見制度利用促進事業	○	○	○	○	○	○
				55	医療・介護連携マップ管理運営事業	○	○	○	○	○	○
			障がい者福祉の充実 (2事業)	56	障がい者福祉合同研修会等の開催	○	○	○	○	○	○
				57	障害支援区分判定審査事務の共同実施	○	○	○	○	○	○
			中小企業従事者の福祉向上 (1事業)	58	勤労者福祉サービスセンター事業	○	○	○	○	○	○
			消費者支援の充実 (1事業)	59	消費生活に係る意識啓発・相談体制の充実・強化	○	○	○	○	○	○
			社会教育の充実 (2事業)	60	生涯学習情報提供事業	○	○	○	○	○	○
				61	図書館相互利用事業	○	○	○	○	○	○
			学校教育の充実 (1事業)	62	広域的体験学習支援事業	○	○	○	○	○	○
			高等学校の地域活動促進 (1事業)	63	高校生地域づくり実践プロジェクト	○	○	○	○	○	○

連携協約項目			事業名		連携する町村						
					三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
役割	分野	連携施策									
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 (43事業)	A 生活機能の強化に係る政策分野 (34事業)	スポーツ活動の機会の充実 (4事業)	64	氷都八戸パワーアッププロジェクト	○	○	○	○	○	○	○
			65	スキー場活用促進事業	○	○	○	○	○	○	○
			66	体育施設情報共有化事業	○	○	○	○	○	○	○
			67	スポーツ大使派遣事業	○	○	○	○	○	○	○
		不法投棄の防止 (1事業)	68	不法投棄防止事業	○	○	○	○	○	○	○
			69	安全・安心情報発信事業	○	○	○	○	○	○	○
		安全・安心なまちづくりの推進 (4事業)	70	福祉避難所の設置及び圏域での相互利用	○	○	○	○	○	○	○
			71	危険空き家対策のための合同研修会の開催	○	○	○	○	○	○	○
			72	国土強靱化地域計画推進事業	○	○	○	○	○	○	○
	B 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 (6事業)	地域内外の住民との交流・移住促進 (6事業のうち1事業は再掲)	73	移住・交流推進事業	○	○	○	○	○	○	○
			(11)	八戸都市圏交流プラザ事業【再掲】	○	○	○	○	○	○	○
			74	縁結び支援事業	○	○	○	○	○	○	○
			75	八戸圏域活性化支援事業	○	○	○	○	○	○	○
			76	住民活動保険制度	○	○	○	○		○	○
			77	公共交通による交流促進事業	○	○	○	○	○	○	○
	C 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 (3事業)	圏域内市町村職員の育成 (1事業)	78	職員合同研修の開催	○	○	○	○	○	○	○
			79	女性チャレンジ講座開催事業	○	○	○	○	○	○	○
		NPO等の活動促進 (1事業)	80	八戸圏域住民活動促進事業	○	○	○	○	○	○	○

掲載事業数計 (23施策82事業)

※再掲1事業・終了1事業

○事業費見込額は、今後変更となる場合があります。なお、H29～H30年度については、決算額を記載しています。

○事業費見込額の凡例

「→」：現時点で事業費を想定することが困難なもの

「－」：現時点で事業費が想定されないもの

「／」：当該年度について、本ビジョンに位置付けられていないもの

1 圏域全体の経済成長のけん引

基本目標	現状値	目標値
製造品出荷額等	6,080億円 (H26年)	6,150億円 (R3年)
従業者数	14万1千人 (H26年)	14万1千人 (R3年)
観光入込客数	951万7千人 (H27年)	1,020万人 (R3年)

(1) 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備

① 取組内容

圏域の経済成長等を図るため、産学金官民一体となったビジョン懇談会等の推進体制を整備・運営し、連携中枢都市圏ビジョンの策定、進捗管理等に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	1	八戸圏域連携中枢都市圏 ビジョン懇談会運営事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・ 圏域の産学金官民の有識者で構成する八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会(以下、ビジョン懇談会という)を開催する。 ・ ビジョン懇談会において有識者から意見を聴取し、各種の連携事業を推進する。					
効 果	・ 圏域の有識者の意見を踏まえた連携中枢都市圏ビジョンの推進					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	連携事業の成果指標 達成率【累計】		—		80% (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	1,917	1,838	1,775	2,890	12,000	20,420
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・ 連携町村及び関係機関等との連携調整を行う。 ・ 必要な費用を負担する。				
	連携町村	・ ビジョン懇談会に参画する。 ・ 懇談会の構成員を推薦する。				

事業名	2	地域未来投資促進法に基づく 基本計画推進事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・事業者が青森県八戸圏域基本計画を踏まえて立案する八戸圏域の特性を活かした先進的な計画が、青森県・国から地域経済牽引事業と承認・確認された場合、当該計画に基づいて行なわれる設備投資に係る固定資産税等について課税免除措置を講じる。 ・地域の行政機関、産業支援機関、大学、金融機関、商工団体等が相互に連携、補完し、地域経済牽引事業の効果が最大限引き出されるよう支援する。					
効 果	・ものづくり・食料品製造産業の集積、多様な観光資源や特産物、交通インフラの地域の特性を活用して地域経済を牽引する事業を支援することにより、八戸圏域における経済の好循環を創出する。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	地域経済牽引事業計画 の承認件数【累計】		—		12件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		—	—	—	—	—
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・圏域内事業者に支援情報を提供する。 ・進捗状況を把握し、基本計画の推進に向けた会議等を開催する。				
	連携町村	・圏域内事業者に支援情報を提供する。 ・進捗状況を把握し、八戸市が主催する会議等に参加する。				

(2)産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

①取組内容

産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成等を図るため、企業支援、産学官連携の推進等、各種連携事業に取り組む。

②具体的な事業

事業名	3	テレマーケティング関連産業 立地促進費補助金		関係市町村	全市町村	
内容	・八戸市テレマーケティング等関連産業立地促進費補助金及び雇用奨励金の交付要件及び雇用奨励金対象者について、圏域住民に拡充する。					
効果	・テレマーケティング等関連産業の定着及び事業拡大が期待される。 ・圏域全体の雇用創出が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	関連企業の従業者数		1, 230人 (H28. 4. 1)		1, 350人 (R4. 4. 1)	
事業費見込額 (単位: 千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	28, 415	6, 106	7, 731	24, 899	20, 811	87, 962
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・申請に係る書類の審査、通知、補助金及び奨励金を交付する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・当該従業員が町村民として住民登録があることを確認する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	4	企業立地促進条例に基づく各種奨励金	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸市企業立地促進条例に基づく各種奨励金(立地奨励金、操業奨励金、設備投資奨励金、雇用奨励金)の雇用要件について、圏域内住民も対象とする。					
効果	・高度技術産業等の立地促進・雇用創出が期待される。 ・立地企業の人材確保及び事業拡大が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	誘致企業の従業員数(※)		3,705人 (H29.4.1)		3,780人 (R4.4.1)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		344,952	118,250	264,295	268,445	995,942
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・申請に係る書類の審査、通知、補助金及び奨励金を交付する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・当該従業員が町村民として住民登録があることを確認する。				

※テレマーケティング関連企業を除く

事業名	5	イノベーション産業集積 促進事業		関係市町村	全市町村	
内 容	・地元企業の新規参入や関連企業の圏域への立地促進に向けた補助金を交付する。(拠点開設、認証取得、展示会出展、試作開発) ・成長ものづくり分野への参入にあたって必要な認証取得に関する勉強会や市場動向についての勉強会、川下企業を招へいしてのマッチング事業を開催する。					
効 果	・圏域内企業の成長ものづくり分野への参入と受注拡大が期待される。 ・圏域内への成長ものづくり関連企業の新規立地が期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	成長産業参入企業数 【分野別総計】		6社 (H27年度)		20社 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	25, 638	8, 087	16, 056	8, 491	4, 200	62, 472
活用を想定する 補 助 制 度 等	—					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・補助金交付に係る事務全般を行う。 ・勉強会の企画立案及び開催事務を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・事業者への制度周知を行う。 ・勉強会の企画立案にあたって八戸市と連携する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。 ・各町村内の企業発掘を行う。				

事業名	6	産学官共同研究開発支援事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・産学官共同研究に関する情報を収集し、圏域内の事業者等に情報を提供する。 ・企業が大学等及び公設研究機関と連携して行う共同研究開発に対して経費の一部を助成する。					
効 果	・圏域内の企業が取り組む技術開発や新製品開発等について、大学や公設試験研究機関等が有する技術シーズの活用を推進することにより、地域産業の高度化の促進が期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	本支援事業の採択企業数 【累計】		2件 (H27年度)		10件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	2,875	3,365	2,403	3,400	3,400	15,443
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・事業を委託するとともに、連携町村や市内の事業者に対し、周知を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・事業者への制度周知を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	7	革新的ものづくり企業 連携促進事業		関係市町村	全市町村	
内 容	・国等の競争的資金の採択企業によるパネルディスカッションを行う「企業交流サロン」を開催する。 ・地元企業の革新的な取組や、競争的資金獲得までの取組を圏域内の事業者 に周知し、企業の競争力強化を図る。					
効 果	・競争的資金の申請件数・採択件数の向上が期待される。 ・企業の競争力強化が期待される。 ・革新的取組や競争的資金に挑戦する意識醸成が図られる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	企業交流サロンの 平均参加者数		29.5人/回 (H27年度)		30人/回 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	57	75	46	252	252	682
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・企業交流サロンを開催する。 ・連携町村や市内の事業者に対し、事業の周知を行う。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・事業者への制度周知を行う。 ・「企業交流サロン」のパネラーとなる事業者を選定する。				

事業名	8	地域企業支援体制強化事業	関係市町村		全市町村	
内 容	・コーディネーターが圏域のものづくり企業を訪問して、販路開拓・新商品開発・生産性の向上その他の経営課題について、課題を発掘する。 ・発掘された課題について、助言等を行うとともに、活用できる支援施策の提案、情報提供等を行う。 ・新商品開発等に係る支援機能の強化に向けて「八戸圏域産学官金連携会議」を開催する。 ・新商品・新サービス開発に資する国の施策説明会等を開催する。					
効 果	・圏域の製造業が抱えている課題の解決を図る。 ・八戸圏域産学官金連携会議の開催を通じて、地域製造業の新商品・新サービス開発における支援ニーズや活用すべき支援施策情報等を共有し、より効果的な支援を図る。 ・国の施策説明会等の開催を通じて、地域製造業の支援施策の活用が期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	企業訪問件数		—		115件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	6, 149	7, 105	5, 380	5, 600	5, 617	29, 851
活用を想定する 補 助 制 度 等	—					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・事業を委託する。 ・コーディネーターによる企業訪問に同行する。 ・支援施策の活用をサポートする。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・事業者支援情報を提供する。 ・コーディネーターに派遣を希望する事業者の情報を提供する。 ・八戸圏域産学官金連携会議や施策説明会等に参加する。				

事業名	9	はちのへ創業・事業承継 サポートセンター事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・八戸市が設置している「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」の事業を圏域に拡充する。 ・各商工会と連携した創業及び事業承継に関する相談対応を行う。 ・サロン事業(セミナー、交流事業等)を実施する。 ・創業に関する情報発信を行う。					
効 果	・创业者の増加及び円滑な事業承継により雇用の場の維持・創出及び地域活力の向上が期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	起業件数 【累計】		5件 (H27年度)		50件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	12,654	12,232	13,637	17,000	17,132	72,655
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・創業支援拠点を設置するとともに、運営を八戸商工会議所に委託する。 ・連携町村や市内事業者等に対し、事業の周知を行う。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・町村内の商工会と連絡調整を行う。 ・事業者への制度周知を行う。				

(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

①取組内容

地域資源を活用した地域経済の裾野拡大を図るため、国内外における販路拡大、圏域の重要な産業である農業支援及び立地環境を活かした企業誘致の推進等、各種連携事業に取り組む。

②具体的な事業

事業名	10	地場産品の販路拡大事業	関係市町村		全市町村	
内 容	・首都圏、仙台圏、道南地域等のイベントに共同参画し、特産品、食などの販売、PRを実施する。 ・テレビ、雑誌等を活用したPRを実施する。 ・特産品、食に特化したパンフレットを作成する。 ・販路拡大に向けた連絡会を開催し、課題の整理、情報共有を行う。					
効 果	・多くの消費者等に地域の魅力ある特産品の認知度を高めるとともに、商品に対するマーケットの評価等の情報を得ることができる。 ・テレビ、雑誌等のメディアの露出を通じて、圏域の魅力を発信することで、多くの方に関心を持ってもらうことができる。 ・販路拡大に向けた体制を構築・強化することにより、効果的な事業推進が図られる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	商談成立件数 【累計】		—		50件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	1,374	1,846	3,216	3,140	3,140	12,716
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・イベント出展やパンフレット作成の取りまとめ、メディア対応などを行う。 ・連絡会の事務局として会議日程調整、資料作成等を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・連絡会に出席して円滑な事業推進に向けた検討を行う。 ・イベントに共同参画する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	11	八戸都市圏交流プラザ事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・八戸都市圏交流プラザ「8base」を首都圏に設置し、八戸圏域の食材をふんだんに活用したメニューの提供や、圏域ならではの物産販売を展開するとともに、人と人が触れ合うイベントなどの交流機能を継続的に展開することで、八戸圏域の強みである「食」の魅力を核としつつ、「人や文化、ライフスタイル」など、多様な魅力を継続的かつ直接的に発信する。					
効 果	・八戸圏域で連携して実施することで、効果的なプロモーションによる地場産品の販路拡大や、八戸圏域のブランド構築につながることが期待される。 ・八戸圏域のファンづくりや、関係人口の形成・拡大が図られるとともに、将来的な圏域への移住・定住へとつながることが期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	来店者数 【累計】		—		98,000人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
				98,512	50,000	148,512
活用を想定する 補助制度等	地方創生推進交付金(内閣府)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・交流プラザの運営に係る費用負担 ・地場産品の販路拡大及び関係人口の形成・増加に向けたPR事業の実施 ・八戸都市圏交流プラザ運営協議会への参画				
	連携町村	・地場産品の販路拡大及び関係人口の形成・増加に向けたPR事業の実施 ・八戸都市圏交流プラザ運営協議会への参画				

事業名	12	マチニワ・マルシェ		関係市町村		全市町村	
内容	・八戸まちなか広場「マチニワ」において、関係市町村の物産・食材を提供する「マルシェ」を開催する。						
効果	・中心市街地の中枢となる場所で開催することで、観光施策とも連携がしやすく、パブリシティ効果も期待でき、圏域のブランドイメージと認知度の向上が図られる。 ・利用制限が少なく自由な雰囲気のある場所で開催することで、新たな企画（試食会、アンケート、サポーター、ホームページ等）が生まれ、今後の商品開発や販売促進が期待される。						
成果指標	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年・年度）		
	開催時の来場者数		—		5,000人/回 (R3年度)		
事業費見込額 （単位：千円）	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計	
		2,574	1,512	1,550	1,450	7,086	
活用を想定する 補助制度等	—						
関係市町村の 役割分担	八戸市	・出展に関する全体の取りまとめを行う。 ・マルシェに出展するとともに、八戸市内の実施団体の決定を行う。 ・パンフレット等PR媒体の更新を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。					
	連携町村	・マルシェに出展するとともに、出展団体に係る調整を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。					

事業名	13	ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ		関係市町村	全市町村	
内容	・圏域内の観光資源、地場産品、伝統芸能等、圏域一体となった総合的なフェスティバルを開催する。					
効果	・来場者に当圏域の持つ様々な地域資源をPRすることで、魅力を再発見してもらい、地域の活性化につながることを期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	入場者数(2日間の計)		14,887人 (H28年度)		17,000人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		6,369	6,480	6,686	6,686	26,221
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・民間事業者に本事業を委託する。 ・広報紙等を通じてイベントをPRする。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・広報紙等を通じてイベントをPRする。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	14	海外販路拡大事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・海外で開催される物産展・プロモーション・展示会にブース出展等し、圏域の企業の海外進出の足がかりとする。 ・海外で開催する商談会及び海外からのバイヤー招へい事業に、圏域の企業が参加できるよう、情報提供等を行う。 ・各国の貿易関連情報(規制、手続等)を、圏域の担当部署と共有する。 ・海外市場における販路拡大や取引の継続を目指す圏域内企業等に対して、経費の一部を助成する。					
効 果	・海外市場に関心はあるものの、ファーストステップが踏み出せない企業等に対し、安心して進出できるプラットフォーム(物産展等)を提供し、また、各種貿易関連情報を併せて提供することで、海外への販路拡大が期待される。 ・圏域内企業等の海外販路拡大により、地域経済の活性化が期待される。 ・様々な国に向けた商談機会を提供することで、複数の商流を確立し、為替や国際情勢などの不安定要素に対するリスクヘッジが図られる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	取引成立(拡大)企業数 【累計】		—		5社 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	7,263	15,936	11,145	17,330	11,474	63,148
活用を想定する 補助制度等等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・海外において物産展・プロモーション・展示会等を開催する。 ・海外での商談会の開催及び海外からのバイヤー招へい事業を実施する。 ・各国の貿易関連情報を提供する。 ・補助金交付に係る事務全般を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・海外で開催する物産展・プロモーション・展示会のほか、商談会及び海外からのバイヤー招へい事業について、各地域の企業への参加案内をするとともに、取りまとめを行う。 ・八戸市から提供のあった貿易関連情報を各地域の企業へ情報提供する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	15	知的財産権対策支援事業	関係市町村	全市町村		
内容	・知的財産権に関するセミナーを開催する。 ・知的財産権に関する各種相談対応を行う。 ・知的財産権取得普及に関するリーフレットを作成する。 ・特許・実用新案・意匠権取得に係る経費を補助する。					
効果	・圏域内企業における知的財産の活用や、技術の高度化につながる。 ・圏域内企業の経営基盤や市場での競争力の強化が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	知的財産権に関する相談件数		141件 (H29年度)		155件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
			2,472	3,574	3,574	9,620
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・事業を委託するとともに、連携町村や市内の事業者に対し、周知を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・事業者への周知を行う。 ・連携市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	16	求人・求職情報等 無料ウェブサイト運営事業	関係市町村		全市町村	
内 容	・ 八戸市が運用する求人・求職情報等無料ウェブサイト「はちのへジョブ市場」を「八戸都市圏ジョブ市場」に改め、圏域内の各企業の人材確保及び就業に関する情報を集約・発信する。 ・ ウェブサイトの周知・浸透を図る。					
効 果	・ 圏域内の求人及び求職者に関する情報を集約・発信することにより、効果的・効率的なマッチングが可能となり、求人事業所が求める人材の確保と求職者の早期就職の促進につながる。 ・ 通勤可能な関係市町村において、多種多様な求人情報を発信することにより、市町村単独では改善が困難な職種によるミスマッチの雇用改善が期待できるほか、早期の就職を支援することにより、若年者等の県外流出の減少が期待できる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	新規求人登録件数 【総計】		87件 (H27年)		400件 (R3年)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	2,323	738	914	1,080	750	5,805
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・ 求人・求職情報等無料ウェブサイト「八戸都市圏ジョブ市場」を管理・運用する。 ・ 圏域内の求人・求職者情報を集約・発信する。 ・ 求人事業所開拓及び事業所訪問を行う。 ・ 連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・ 広報紙等を活用し、求人・求職情報等無料ウェブサイトを周知する。 ・ 求人・求職情報等無料ウェブサイトの専用端末を設置し、住民の利用に供する。 ・ 求人事業所開拓及び事業所訪問をサポートする。 ・ 関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	17	地域事業所人材獲得等支援事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・圏域内事業所の情報発信力の強化、採用力の向上、インターンシップの受入体制の構築を支援するセミナーを開催する。 ・セミナー参加事業所を対象に人材確保に係る個別相談を実施する。 ・首都圏等で開催される就職・転職フェア等に出展するための経費の一部を助成する。					
効 果	・圏域内事業所の人材不足の解消 ・U I J ターン就職の促進 ・若年者(新規学卒)の人材流出の抑制					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	本事業を活用した事業所のうち、人材を獲得した事業所数【累計】		—		30社 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	2,683	2,713	426	4,112	4,112	14,046
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・セミナー並びに個別相談に関する業務を委託する。 ・助成金交付に係る事務全般を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・事業者への制度周知を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	18	企業誘致セミナー開催事業	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸市の企業立地環境・インセンティブ・八戸港等の魅力を首都圏・中部圏でトップセールスする八戸セミナーにおいて、連携中枢都市圏の立地環境・インセンティブ等についても総合的にPRする。					
効果	・圏域への新規企業立地が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	参加者数 (東京＋名古屋)		450人 (H28年度)		470人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	5,854	6,181	7,079	7,625	7,386	34,125
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・講師・会場選定をはじめとしたセミナー運営全般を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・参加企業選定、PR媒体・資料作成のほかセミナー運営の支援を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

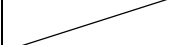
事業名	19	農業情報提供事業	関係市町村	全市町村		
内容	・圏域内の農業者を対象とした、「八戸市農業講座」を開催する等、生産技術情報の提供を行う。					
効果	・生産技術情報を発信することにより、農業者の経営の安定が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	農業講座受講者数		391人 (H27年度)		450人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	198	222	224	229	229	1,102
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・生産技術情報の提供等を目的とする八戸市主催「八戸市農業講座」の開講に関する情報等を市民、並びに町村に周知する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・「八戸市農業講座」の開講に関する情報等を住民に周知する。				

事業名	20	新規就農者向け支援施策の 情報発信体制の一元化		関係市町村	全市町村	
内 容	・ 関係市町村における新規就農者向け情報発信媒体を一元化する。 ・ 関係市町村のホームページ等を利用し、圏域内における一体的な情報発信を行う。					
効 果	・ 新規就農希望者向け情報発信媒体を一元化することにより、関係市町村において、詳細な新規就農者の受け入れに関する情報を共有することが可能になるとともに、新規就農希望者の利便性の向上が図られる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	認定新規就農者数 【総計】		58経営体 (H27年度)		164経営体 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	—	—	—	—	—	—
活用を想定する 補 助 制 度 等	—					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・ 関係市町村の新規就農者向け支援に関する情報をまとめ、新規就農希望者向け情報発信媒体を作成し、連携町村に配付するとともに、八戸市ホームページ等において情報発信を行う。				
	連携町村	・ 新規就農希望者向け情報発信媒体を町村のホームページ等に掲載し、情報発信を行う。				

事業名	21	農作業マッチング制度構築事業	関係市町村	全市町村		
内容	・定年退職者などの農作業サポーターと農作業の支援を希望する農業者とのマッチングに関する課題解決を図る。					
効果	・定年退職者などの農作業サポーターと農作業の支援を希望する農業者とのマッチングを促進することにより、農業労働力が確保される。 ・関係市町村が連携し、労働の周年化を検討することにより、労働力となる定年退職者などの農作業サポーターにも働きやすい環境が整備される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	農作業マッチング件数		6件 (H27年度)		12件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		—	—	—	—	—
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・定年退職者等の農作業サポーター等と農作業の支援を希望する農業者とのマッチングに関する課題の解決策を検討するための農作業マッチング制度構築事業を実施する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・農作業マッチング制度構築事業を八戸市とともに実施する。				

事業名	22	南郷そば振興センター共同利用事業	関係市町村	八戸市、階上町		
内容	・八戸市及び階上町産のそばの乾燥・選別処理受入れに対応するため拡充した南郷そば振興センターの施設を、当該区域のそば生産者の利用に供する。					
効果	・南郷そば振興センターの共同利用により、八戸市及び階上町の区域内のそば生産の振興につながることが期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	そば作付面積		125ha (H27年)		132ha (R3年)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	9, 120	9, 120	11, 062	10, 688	10, 688	50, 678
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・南郷そば振興センターの施設を、八戸市及び階上町のそば生産者の利用に供する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・南郷そば振興センターについて、区域内のそば生産者に周知し、積極的な利用を促進する。 ・八戸市と協議の上、施設の運営に要する費用の一部を負担する。				

事業名	23	畜産業及び畜産関連産業振興事業	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに基づき各種事業を実施する。					
効果	・圏域の畜産業及び関連産業の実情に即した関連施策を実施することにより、地域経済の活性化が期待できる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の飼養頭羽数		乳牛 1,526頭 肉牛 15,210頭 豚 116,051頭 採卵鶏 3,684,451羽 肉用鶏 3,670,232羽 (H26年)		乳牛 1,530頭 肉牛 15,300頭 豚 136,000頭 採卵鶏 4,800,000羽 肉用鶏 4,100,000羽 (R4年)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	1,694	1,841	2,004	2,461	2,461	10,461
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・八戸地域畜産関連産業振興ビジョンの進行管理を連携町村・有識者等とともに行う。 ・ビジョンに掲げる各種事業を連携町村等とともに実施する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・ビジョンに掲げる各種事業を八戸市とともに実施する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	24	漆産業振興事業	関係市町村	全市町村		
内容	・圏域内のウルシ林の情報を収集・管理するとともに、漆の一大産地である二戸市と情報を共有し、ウルシの植栽を促進する。 ・ウルシを植栽する際の苗木の購入費用を助成する。					
効果	・圏域全体でウルシ林を植栽し、情報を把握することで、漆の安定的な供給システムの構築が期待される。 ・伝統文化の保存や技術の継承のほか、圏域内の森林の多面的な利用や農山村地域の振興が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	ウルシ苗木の植栽本数 【累計】		—		8,500本 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		1,416	214	450	660	2,740
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・原木調査及び植栽計画を策定し、圏域内の情報を把握する。 ・補助金交付に係る事務全般を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・町村内のウルシ林の状況を把握し、情報を管理する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	25	漁業就業支援事業	関係市町村		八戸市、三戸町、南部町、階上町、おいらせ町	
内容	・漁業就業者の減少や後継者不足について、連携市町が協力し対策の検討に取り組む。 ・関係市町の水産担当課が、漁業就業や漁業に必要な技能習得・資格取得の方法について情報収集するとともに、集約した情報を基にパンフレットを作成し、各市町の担当課窓口やホームページ等にて情報発信を行う。					
効果	・圏域内の漁業就業にかかる情報を集約・発信することにより、就業希望者に対して漁業に必要な技能習得・資格取得を促進し、現場で求められる人材の確保と漁業就業希望者の早期就業の促進が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	漁業就業に係る相談件数		—		15件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・圏域内の漁業就業や資格取得等に関する情報を集約して、発信する。				
	連携町村	・必要な費用を負担する。				

(4) 戦略的な観光施策の展開

①取組内容

圏域全体の観光誘客を促進するため、戦略的な観光施策に取り組む。

②具体的な事業

事業名	26	八戸広域観光戦略推進事業	関係市町村		全市町村	
内容	・八戸広域観光戦略等に基づき、関係町村及び一般財団法人VISITはちのへと連携し、広域観光戦略推進事業を実施する。					
効果	・関係市町村や観光関係者等が一体となって各種事業を実施することで、圏域の認知度向上と観光入込客数の増加が期待できる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	来訪者満足度(宿泊客)		36.8% (H29年度)		39.8% (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	2,900	10,264	9,017	6,967	6,967	36,115
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・八戸広域観光戦略に掲げる各種事業を連携町村などと実施する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・八戸広域観光戦略に掲げる各種事業を関係市町村などと実施する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	27	グリーン・ツーリズム推進事業	関係市町村		八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町	
内容	・農家民泊に関しては、課題となっている受入農家維持・確保や育成などについて、連携市町が協力し対策の検討に取り組む。 ・果物狩り等の各種体験メニューの充実を図り、PRを推進する。 ・八戸市東京事務所を窓口として首都圏へのグリーン・ツーリズム情報の発信を行うとともに、同事務所に受入窓口を設置する。					
効果	・一般市民等の交流人口の増加による経済波及効果が期待できる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	受入校数		5校 (H27年度)		11校 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	1,200	1,200	1,060	470	1,070	5,000
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・関係市町で、農業観光PR、農業観光資源の開発、情報収集、教育旅行受入等の事業を実施し、必要に応じて費用を負担する。				
	連携町村	・事務局は、三八地方農業観光振興協議会の会長が属する市町の担当課が担う。				

2 高次の都市機能の集積・強化

基本目標	現状値	目標値
広域バス路線数	16路線 (H27年度)	16路線 (R3年度)
主要拠点施設(※)における利用者数	107万4千人 (H27年度)	124万4千人 (R3年度)

※八戸ポータルミュージアム、八戸ブックセンター、八戸市多賀多目的運動場、八戸市新美術館、八戸市長根屋内スケート場の5施設を想定
(H27年度は、八戸ポータルミュージアム、八戸市美術館、長根リンクの実績)

(1) 高度な医療サービスの提供

①取組内容

高度な医療サービスの提供に向け、各種連携事業に取り組む。

②具体的な事業

事業名	28	ドクターカー運行事業の 充実・強化		関係市町村	全市町村	
内 容	・ドクターカーに係る高度医療機器を整備する。 ・ドクターカーを活用した救急医療に効果的な装置・設備を整備する。					
効 果	・医療機器及び救急医療に効果をもたらす装置や設備は、日々進歩しており、高度な医療機器等を整備することにより、ドクターカーを活用した救急医療の向上が期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	心肺停止傷病者の 1か月後の生存率		7.2% (H27年)		7.5% (R3年)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	0	2,592	0	1,210	1,496	5,298
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・ドクターカー運行による救急活動をさらに向上させるため、事業に必要な高度な医療機器等を導入する。 ・圏域内の医療機関等との連携及び調整に努める。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・圏域内の医療機関等との連携及び調整に努める。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	29	八戸市総合保健センター運営事業	関係市町村		全市町村	
内容	・総合的な医療・健康対策の充実を図るため、関連する機能を集約した拠点施設である八戸市総合保健センターを運営し、圏域住民の利用に供する。					
効果	・総合的な医療・健康対策を推進することにより、住民一人ひとりが生涯を通じて心身ともに健康で、生きがいのある生活を送ることが期待される。					
成果指標	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年・年度）	
	休日夜間急病診療所利用者のうち市外在住者の割合		18.2% (H27年度)		20.0% (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	(R2年度まで整備事業として実施)				→	→
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・八戸市総合保健センターを運営するとともに、関係町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・関係市町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。				

事業名	30	高度医療従事者育成事業	関係市町村	全市町村		
内容	・三次救急及び母子周産期医療等の高度医療に従事する医師・看護師の医療技術向上を図るため、各種研修・講習会への参加を支援するとともに、八戸市立市民病院において救命救急・周産期医療関連講習会を開催する。 ・ドクターカーにおける医療活動に必要な資格取得を支援する。					
効果	・救命救急センター及び地域周産期母子医療センターで活動する医師・看護師の全体的なレベルの向上を図ることにより、高度医療提供体制の維持・向上が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)	目標値(達成年・年度)		
	研修参加者数		113人 (H27年度)	117人 (R3年度)		
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	1,331	496	320	1,200	1,964	5,311
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・救命救急センター及び地域周産期母子医療センターの機能を維持・向上させるため、関係スタッフを各種研修・講習会に参加させる。 ・救命救急・周産期医療関連講習会を開催する。 ・救命救急センター及び地域周産期母子医療センターと圏域内の医療機関等との連携及び調整に努める。				
	連携町村	・救命救急センター及び地域周産期母子医療センターと圏域内の医療機関等との連携及び調整に努める。				

(2) 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

① 取組内容

高度な中心拠点を整備するとともに、広域的公共交通網の維持及び利便性の向上に向け、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	31	八戸圏域公共交通計画 推進事業		関係市町村		全市町村	
内 容	・ 広域路線バス上限運賃政策を引き続き実施する。 ・ 鉄道やバスの乗継環境の改善方策を検討する。 ・ 低床バス車両やＩＣカードの導入等を検討する。 ・ 必要に応じ、計画の見直しを実施する。 ・ バス路線維持に対する支援やコミュニティバスの運行など、計画の推進に伴い必要となる事業を関係市町村において実施する。						
効 果	・ 通勤・通学、通院、買物等の日常生活に欠くことのできない地域公共交通が確保されることにより、圏域住民の生活の質の維持・向上が図られる。						
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)		
	広域バス路線数		16路線 (H27年度)		16路線 (R3年度)		
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計	
	36,784	42,679	21,460	7,294	5,767	113,984	
活用を想定する 補助制度等	特別交付税(地方バス路線運行維持対策)						
関係市町村の 役割分担	八戸市	・ 連携町村及び交通事業者等との連携により、計画の推進を図る。 ・ 計画の推進に伴い必要となる事業を実施する。 ・ 連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。					
	連携町村	・ 八戸市及び交通事業者等との連携により、計画の推進を図る。 ・ 計画の推進に伴い必要となる事業を実施する。 ・ 関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。					

事業名	32	美術館運営事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・文化施設が集積している八戸市の中心街に、美術館学芸、アートの学び、アートのまちづくりの3つの役割を融合させた新しい新美術館を整備し、連携町村と連携しながら次の事業を展開する。 1)基本事業 調査研究、収集保存、情報収集、研修・研鑽など、美術館活動の根底を支え、専門性を高める事業 2)パイロット事業 展覧会を主体としたプロジェクトや、アートの学びに関わるプログラム、地域でのアートプロジェクトなど、美術館の組織を超え、市民や地域と連携しながら、美術館学芸、アートの学び、アートのまちづくりの3つの分野を横断的に展開する事業					
効 果	・圏域における新しい文化や価値の創造が期待される。 ・アートを主軸とした人づくり、まちづくりが期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	年間来館者数		—		90,000人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	—	49,551	30,680	34,758	68,291	183,280
活用を想定する 補 助 制 度 等	—					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・美術館を整備・運営するとともに、関係町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・関係市町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。				

事業名	33	八戸ポータルミュージアム事業	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸ポータルミュージアムを核として、次の事業を展開する。 1)文化芸術活動振興事業 2)ものづくり振興事業 3)情報事業					
効果	・八戸ポータルミュージアムを核に開催されるアート関係のイベントや、圏域住民が主催する文化活動などにより、文化芸術の振興や、圏域内の回遊性の向上が期待される。 ・ものづくりをはじめとした創造的人材を呼び込み、活動支援を行うとともに、ものづくりを通じた圏域の活性化や賑わい創出が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	圏域住民等主催の文化芸術活動率		20% (H27年度)		25% (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	35,137	37,910	21,026	22,423	19,611	136,107
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・八戸ポータルミュージアムを核として各種イベントを企画するとともに、連携町村への情報提供、圏域内の中小企業、起業希望者等に向けた情報発信を行う。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・八戸市から提供された情報を住民に周知する。 ・地域で活躍する人材の育成、及び地域資源に光を当てる創作活動と情報発信の場として活用する。				

事業名	34	ブックセンター事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・八戸ブックセンターにおいて、圏域内の書店や関係機関と連携し、次の取組を実施する。 1)セレクト・ブックストアの運営(選書、陳列、販売等) 2)読書会ルーム、カンヅメブースの貸出 3)企画事業(読書会、トークイベント、ギャラリー展示等)の実施 4)ホームページ、SNS、フリーペーパー等を活用した情報発信 等					
効 果	・本と出会う新たな機会を創出するとともに、本を通じた交流やまちづくりを推進することにより、圏域住民の豊かな心が育まれ、文化の向上が図られることが期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	年間来館者数		－		90,000人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	69,206	73,909	73,120	77,538	78,063	371,836
活用を想定する 補助制度等	－					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・八戸ブックセンターを運営するとともに、連携町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・関係市町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。				

事業名	35	屋内スケート場運営事業	関係市町村	全市町村		
内容	・国際大会に対応するとともに、多目的に利用可能な、八戸市長根屋内スケート場を整備・運営し、圏域住民の利用に供する。					
効果	・スピードスケートの底辺拡大と競技力向上が期待される。 ・各種イベントの開催などによる圏域の活性化が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	利用者数 (現状値は長根リンク)		74,533人 (H27年度)		145,000人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	—	—	118,952	7,156	6,930	133,038
活用を想定する 補助制度等	防災・安全交付金(国土交通省)、 屋内スケート場整備促進事業費補助金(県)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・八戸市長根屋内スケート場を建設・運営するとともに、連携町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・関係市町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。				

事業名	36	多賀多目的運動場運営事業	関係市町村		全市町村	
内容	・地域の活性化並びに地域スポーツの振興を図るため、サッカーJ3のスタジアム要件を満たす球技場をはじめ、多目的に利用可能な運動施設を運営し、圏域住民の利用に供する。					
効果	・各種大会・スポーツイベントなどの開催により、地域の一体感や活力の創出に寄与するとともに、圏域内外の交流人口の拡大により圏域経済の活性化が期待される。 ・地域スポーツとトップスポーツの好循環の創出による競技力向上や、スポーツに親しむ圏域住民が増加することにより、圏域住民の健康保持が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	多賀多目的運動場を本拠地とするスポーツチームの観客数		—		31,000人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	59,937	59,965	59,523	59,523	59,523	298,471
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・多賀多目的運動場を運営するとともに、連携町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・関係市町村と連携し、圏域内における利活用を推進する。				

(3) 高等教育機関等と連携した地域の人材育成

① 取組内容

高等教育機関等と連携し、人材育成及び地域振興に向け、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	－	eコマース人材育成事業	関係市町村	全市町村		
内 容	(平成29年度から令和元年度まで) ・八戸学院地域連携研究センターと連携し、圏域の中小企業や個人事業主（農家含む）、地場産品を幅広く扱う「道の駅」等の関係者、起業希望者等を対象とした、ECサイト(※)の運営にあたり必要となるスキルや知識を得るための講座を開設する。 ・受講者間や研究員等の交流を図り、人的ネットワークを構築する。 ※インターネット上で商品を販売するウェブサイト					
効 果	・ECサイトの運営等に精通した人材の育成や、人的ネットワークの構築により、地場産品等の販路拡大や起業の促進が期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	講習会参加者数		－		20人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	1,527	1,550	1,700			4,777
活用を想定する 補助制度等	－					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・八戸学院地域連携研究センターに本事業を委託する。 ・連携町村への情報提供、圏域内の中小企業、起業希望者等に向けた情報発信を行う。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・住民への事業周知を行う。				

事業名	37	学生まちづくり助成金制度	関係市町村	全市町村		
内 容	・ 学生や大学等が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決を目的とした事業又は活動の企画に対して助成金を交付する。 ・ 市民活動団体や住民組織が取り組む活動等を通じて、学生が行うまちづくり活動に対して交通費等の実費を助成する。					
効 果	・ 地域が持つ様々な地域課題の解決やまちづくり活動に取り組むことにより、地域課題に対する当事者意識の醸成が図られ、将来の圏域を担うリーダーの育成につながる。 ・ 学生の社会参加の第一歩となるボランティアなどのまちづくり活動を支援することにより、地域貢献に対する意識醸成及びまちづくり活動への参加促進につながる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	助成金交付件数 【総計】		28件 (H28年度)		53件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	1, 195	1, 119	979	1, 633	1, 568	6, 494
活用を想定する 補 助 制 度 等	—					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・ 事業の進捗管理を行う。 ・ 事業の周知や申請内容に対する関係課及び連携町村への意見照会、学生・大学等と関係機関や地域とのコーディネートを行う。 ・ 必要な費用を負担する。				
	連携町村	・ 事業の周知や申請内容に対する関係課への意見照会を取次ぐほか、学生・大学等と関係機関や地域とのコーディネートを行う。				

事業名	38	学官連携地域シンクタンク	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校の3校と八戸市が連携して、地域の政策課題について調査研究するために設置する地域シンクタンクについて、連携町村職員に参加の機会を提供する。					
効果	・職員の資質と能力の向上が期待できる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	参加市町村職員数		2人 (H28年度)		2人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	830	995	912	1,000	1,000	4,737
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・当該事業へ連携町村の職員が参加する機会を提供する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・八戸市が実施する当該事業へ参画するプロジェクトメンバー(職員)を推薦する。				

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

基本目標	現状値	目標
合計特殊出生率	1.47 (H20～24年平均)	1.62 (R3年)
転入者人口比率(転入者数/住基人口)	2.78% (H27年)	2.78%以上 (R3年)
転出者人口比率(転出者数/住基人口)	3.20% (H27年)	3.20%以下 (R3年)
年少者人口比率(年少者数/住基人口)	11.95% (H27年)	11.95%以上 (R3年)

A 生活機能の強化

(1) 医療体制の充実

① 取組内容

医療体制の充実を図るため、自治体病院間における医師の派遣体制の構築、ドクターカーの運行等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	39	医師派遣事業	関係市町村		八戸市、三戸町、五戸町、 田子町、南部町、おいらせ町	
内 容	・五戸総合病院、三戸中央病院、田子診療所、南部町医療センター、おいらせ病院を対象に、医師充足数の実態に応じて、八戸市立市民病院から医師を派遣する。					
効 果	・病症の程度や回復の度合いに応じて、身近に適切な医療サービスを受けられる環境を整備するとともに、八戸市立市民病院への過度な依存を軽減することにより、中核病院としての八戸市立市民病院の医療機能が維持され、圏域全体に高度な医療サービスを提供する体制が強化される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	派遣医師数		194人 (H27年度)		196人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	19,854	28,476	26,922	34,399	37,364	147,015
活用を想定する 補助制度等	特別交付税(病診連携等による地域医療の確保に対する措置)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・医師の招へいに努めるとともに、関係町と協議の上、医師を派遣する。				
	連携町村	・医師の派遣に要する費用を負担する。				

事業名	40	ドクターカー運行事業	関係市町村		全市町村	
内容	・八戸市立市民病院にてドクターカーを運行する。					
効果	・ドクターヘリとドクターカーの併用により、救急医療における地域格差が緩和されるとともに、救急患者の救命率及び社会復帰率が向上する。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	出動件数		1,439件 (H27年度)		1,500件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	12,385	12,660	13,350	16,048	21,315	75,758
活用を想定する 補助制度等	特別交付税(病診連携等による地域医療の確保に対する措置)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・ドクターカーの維持管理を関係市町村で共同して行い、協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村					

事業名	41	救急・母子周産期医療に関する医療人材育成事業	関係市町村	八戸市、三戸町、五戸町、南部町、おいらせ町		
内容	・八戸市立市民病院にて開催される救急医療、母子周産期医療に関する講習会等について、圏域町村の救急告示病院や産科標榜病院(※)の医師・看護師に対し、参加の機会を提供する。 ※圏域町村の救急告示病院、産科標榜病院(H25年4月策定「青森県保健医療計画」より) 1)救急告示病院：三戸中央病院、五戸総合病院、南部病院、南部町医療センター(名川病院)、おいらせ病院 2)産科標榜病院：五戸総合病院					
効果	・八戸圏域における救急医療、母子周産期医療に関する医療レベルの維持・向上が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	参加者数		—		20人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	0	0	0	300	300	600
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・八戸市立市民病院にて開催される当該分野の講習会等について、連携町村の医師・看護師に対し、参加の機会を提供する。				
	連携町村	・必要に応じて、八戸市立市民病院で開催される当該分野の講習会等に、該当病院の医師・看護師を参加させる。 ・必要な費用を負担する。				

事業名	42	周産期医療体制周知事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・周産期における医療体制等、関係町村の各種情報をまとめ、ホームページ等により、圏域の市町村の情報を発信する。 ・八戸市立市民病院におけるハイリスク妊婦及びハイリスク新生児の円滑な受入に必要な情報を市町村間で共有し、情報提供を行う。					
効 果	・周産期に関する各種情報の周知が図られるとともに、ハイリスク妊婦及びハイリスク新生児が速やかに適切な医療を受けられることにつながる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)	目標値(達成年・年度)		
	ホームページPV数		5,209PV (H27年度)	5,300PV (R3年度)		
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	—	—	—	—	—	—
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・ハイリスク妊婦等の円滑な受入に必要な情報を連携町村に提供する。 ・各種情報をまとめたホームページを作成し、連携町村と連携して情報発信を行う。				
	連携町村	・ホームページの内容を更新し、八戸市と情報を共有する。 ・八戸市と情報を共有し、ハイリスク妊婦等の受入について、八戸市立市民病院と連携する。				

事業名	43	不妊専門相談センター事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・八戸市が実施している不妊専門相談センター事業の対象を圏域に拡充し、不妊や不育症に悩む夫婦等に対して、専門医が相談に応じる。					
効 果	・不妊や不育症に悩む夫婦等にとっては、身近な場所で専門的な相談等の支援を受けられることにより、妊娠・出産に向けた課題の解決が期待される。 ・子どもを生み育てる環境の形成につながる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	相談件数		1件 (H28年度)		24件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	366	305	20	234	549	1,474
活用を想定する 補助制度等	母子保健衛生費国庫補助金					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・当該事業の対象区域を拡大し、圏域住民の利用に供する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。 ・必要に応じて八戸市と連携し、相談者に対する支援を行う。 ・必要に応じて当該分野の講習会等に職員を参加させる。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	44	AED普及促進事業	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸市とボランティア団体等が開催しているAED講習会について、参加対象者を圏域住民に拡大する。 ・8市町村それぞれが、公共施設等にAED(自動体外式除細動器)を設置する。 ・住民の参加が多く見込まれる営利を目的としないイベント等に対して、AEDの相互貸し出しを行う。					
効果	・事業の周知、講習会の参加等を通じて、圏域内でのAEDの普及啓発が図られる。 ・圏域におけるAEDの相互貸し出しにより、イベント等が重なる時期にも必要な台数が確保され、突然の心停止に陥ったときの救命活動に備えることができる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	AED講習会の参加者数		—		55人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	14, 268	15, 189	16, 039	12, 985	9, 969	68, 450
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・AEDを設置し、費用を負担する。 ・当該事業を住民に周知し、圏域内で実施されるイベント等におけるAEDの配備を促進する。				
	連携町村					

(2)子育て支援の充実

① 取組内容

子育て支援の充実を図るため、八戸市が実施している子育て支援事業の対象区域を拡大する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	45	一時預かり保育事業	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸市の認定こども園・保育所・幼稚園において、家庭での保育が困難となった児童を一時的に預かる。 ・対象を連携町村の住民にも拡大し、圏域の子育て家庭の支援を行う。					
効果	・保護者の育児に対する心理的・身体的負担を軽減することにより、子どもを安心して生み育てる環境の形成につながる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)	目標値(達成年・年度)		
	実施箇所数		31箇所 (H28年度)	34箇所 (R3年度)		
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	83,394	82,042	107,404	196,700	150,000	619,540
活用を想定する 補助制度等	子ども・子育て支援交付金(内閣府)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・当該事業の対象区域を拡大し、圏域住民の利用に供する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。				

事業名	46	ファミリーサポートセンター事業	関係市町村	全市町村		
内容	・地域において育児援助を受けたい人(依頼会員)、行いたい人(提供会員)を組織化し、会員同士の相互援助を図る。 ・対象を連携町村の住民にも拡充する。					
効果	・ライフスタイルに応じた子育て支援サービスの選択肢が増えることで、安心して子育てができる環境の充実につながる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	登録会員数		714人 (H27年度)		850人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	6,290	6,290	6,687	6,813	6,814	32,894
活用を想定する 補助制度等	子ども・子育て支援交付金(内閣府)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・当該事業の対象区域を拡大し、圏域住民の利用に供する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。				

事業名	47	子育てつどいの広場事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・八戸市が八戸ポータルミュージアム内の「子育てつどいの広場」の利用対象を連携町村の住民にも拡充し、圏域の子育て世代の交流の場として活用する。 ・子育てつどいの広場は、地域の子育て支援の拠点施設として、親子を対象とした常設型の交流の場とする。 ・子育てに関する相談・援助活動や子育て関連講座等を実施する。					
効 果	・市町村の行政区域の枠を超えて、子育て世代の交流の輪が広がることにより、圏域の子育て世代同士の多様な支えあいにつながる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)	目標値(達成年・年度)		
	利用者数		52,408人 (H27年度)	52,500人 (R3年度)		
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	16,197	16,612	15,431	15,449	15,140	78,829
活用を想定する 補助制度等	子ども・子育て支援交付金(内閣府)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・当該事業の対象区域を拡大し、圏域住民の利用に供する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。				

事業名	48	子育てサロン支援事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・ 小学校入学前の子どもと親の交流を目的として、地区公民館・児童館等を拠点に八戸市内21地区で子育てサロン事業を行う。 ・ 対象を連携町村の住民にも拡充し、圏域住民の子育て世代の交流を促進する。					
効 果	・ 市町村の行政区域の枠を超えて、子育て世代の交流の輪が広がることにより、圏域の子育て世代同士の多様な支え合いにつながる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)	目標値(達成年・年度)		
	実施地区数		21地区 (H28年度)	21地区 (R3年度)		
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	2, 128	2, 050	2, 160	2, 236	2, 276	10, 850
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・ 当該事業の対象区域を拡大し、圏域住民の利用に供する。 ・ 必要な費用を負担する。				
	連携町村	・ 当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。				

事業名	49	地域子育て支援拠点事業	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸市の認定こども園・保育所等において、子育てに関する相談・援助、子育て関連情報の提供、子育てに関する講習等を実施する。 ・対象を連携町村の住民にも拡大し、圏域の子育て親子の交流を促進する。					
効果	・子育て世代の交流の場を形成し、圏域住民同士の結びつきを高めることができる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	実施箇所数		15箇所 (H28年度)		15箇所 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	54,768	52,734	60,540	58,896	54,346	281,284
活用を想定する 補助制度等	子ども・子育て支援交付金(内閣府)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・当該事業の対象区域を拡大し、圏域住民の利用に供する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。				

事業名	50	児童虐待防止対策事業		関係市町村	全市町村	
内容	・児童虐待防止対策の強化を図るため、八戸市総合保健センターを活用し、専門職員の支援技術習得のための研修会を開催するとともに、一般セミナーの開催において、圏域住民に対する啓発を行う。					
効果	・専門職員等のスキルアップにより、虐待リスクのある児童や困難を抱える家庭（保護者）に対し、早期からの適切な相談対応や福祉サービスの調整を中心とした支援の実施が期待できる。 ・研修を通じて専門職員等の間で顔の見える関係づくりが促進され、圏域における連携した支援体制の強化が図られる。					
成果指標	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年・年度）	
	研修会等の参加団体数		42 団体 (R2 年度)		115 団体 (R3 年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	計
					141	141
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・事務局を担い、研修会やセミナー等を企画・準備・開催する。 ・職員や関係団体、住民に研修会等の開催を周知し、積極的な参加を促す。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・研修会やセミナー等を企画・準備・開催する。 ・職員や関係団体、住民に研修会等の開催を周知し、積極的な参加を促す。				

(3) 高齢者福祉の充実

① 取組内容

高齢者福祉の充実を図るため、高齢者福祉に関する合同研修会の開催、成年後見制度の利用促進等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	51	高齢者福祉合同研修会等の開催		関係市町村	全市町村	
内 容	・ 認知症や虐待などの各種困難事例に対応するため、専門の医師や研究者を招くなどして合同研修会を開催する。					
効 果	・ 圏域内で共通の情報を得ることで、圏域全体で支援の質を高めることができる。 ・ 合同開催にすることで、関係市町村の予算負担や開催にかかるマンパワーを減らすことができる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	研修会等出席者数		129人 (H28年度)		200人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	88	64	177	196	172	697
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・ 開催のための全般的な取りまとめをするとともに、合同研修会に従事する。 ・ 連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・ 事前の打合せに出席するとともに、研修当日までの準備を行い、当日従事する。 ・ 関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	52	あんしんカード事業	関係市町村		全市町村	
内容	・認知症等により徘徊して自宅に戻れなくなる可能性がある方の情報を登録し、保護された際、ご家族等に連絡する仕組みを作る。 ・圏域内での徘徊登録者の情報連携を図る。 ・登録者には登録番号等を記載したカード等を配付する。					
効果	・圏域内の情報を共有することで、市町村間の円滑な調整が図られ、ご家族等への早期の連絡につなげる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	登録者総数		375人 (H28年度)		725人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	20	18	7	27	19	91
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・市内登録者の台帳整備等を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・町村登録者の台帳整備等を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	53	救急医療情報キット配付事業	関係市町村	全市町村		
内容	・関係市町村の災害時要援護者(避難行動要支援者)等に対し、かかりつけ医療機関、持病等の情報を保管する救急医療情報キットを配付する。					
効果	・事業導入により災害時要援護者(避難行動要支援者)等の急病、事故、災害等の救急時における、救急隊員の迅速な対応が期待できる。 ・圏域で共通の仕様とすることで、救急隊員が迅速に情報を把握できる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	新規配付対象者への普及率		—		90% (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	2,730	1	3	14	14	2,762
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・事業に係る情報提供及び調整を行う。 ・八戸市及び連携町村におけるキットの必要数を把握し、一括購入後に連携町村へ納品する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・各自治体管内の配付対象者に救急医療情報キットを配付し、配付状況を管理する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	54	成年後見制度利用促進事業	関係市町村	全市町村		
内容	・成年後見制度の利用促進を図るため次の取組を行う。 1) 市民後見人の養成・推進 2) 研修・啓発					
効果	・成年後見制度の利用を促進することで、判断能力が低下した人の虐待や消費者被害の未然防止が図られる。 ・市民後見人の養成により、圏域全体の福祉向上が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	研修会参加者数		—		100人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	388	499	3,032	727	416	5,062
活用を想定する 補助制度等	地域医療介護総合確保基金(県10/10)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・講座及び市民後見人養成研修を実施する。 ・制度の普及啓発・研修の周知を行うとともに、市民後見人を養成する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・講座及び市民後見人養成研修を実施する。 ・制度の普及啓発・研修の周知を行うとともに、市民後見人を養成する。				

事業名	55	医療・介護連携マップ 管理運営事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・圏域の医療機関、介護事業所の情報をマップ化し、ホームページ上に掲載する。					
効 果	・圏域の医療機関、介護事業所の職員が、患者、利用者を支援する際に必要な情報を収集でき、円滑に適切な支援を提供することが期待できる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	医療・介護連携マップ P V数(月間)		8,680 P V (H30.3)		13,000 P V (R4.3)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
			385	385	385	1,155
活用を想定する 補 助 制 度 等	地域支援事業交付金					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・医療・介護連携マップ管理運営業務の委託契約を締結する。 ・連携町村からのマップに関する意見等を集約し、受託者へ伝える。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・事業所の新設・変更・廃止等の情報を集約し、受託者へ伝える。				

(4) 障がい者福祉の充実

① 取組内容

障がい者福祉の充実を図るため、合同研修会を開催するとともに、圏域内の審査判定事務を八戸市の設置する審査会において実施する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	56	障がい者福祉合同研修会等の開催		関係市町村	全市町村	
内容	・発達障がいや虐待などの各種個別事例に対応するため、専門の医師や研究者を講師とした合同研修会等を開催する。					
効果	・各種個別事例に対応するため、合同研修会等の開催は、職員及び関係者の能力や資質を向上させ、障がい者福祉サービスの向上につながることを期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	参加者数		159人 (H27年度)		180人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	465	465	473	473	473	2,349
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・障がい者福祉合同研修会等を開催する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・障がい者福祉合同研修会等の企画に参画するとともに、当該研修会等に職員を参加させる。 ・福祉サービス事業に携わる関係者や福祉に関心のある住民等に当該研修会等を周知し、積極的な参加を促進する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	57	障害支援区分判定審査事務 の共同実施		関係市町村		全市町村	
内 容	・ 障害者総合支援法の規定に基づき、市町村が行う障害支援区分判定事務について、圏域内の事務を八戸市の審査会において実施する。						
効 果	・ 審査事務を一括して実施することで、事務の効率化により福祉サービスの向上が期待される。						
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)		
	審査件数		686件 (H27年度)		720件 (R3年度)		
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計	
	20,094	19,743	19,919	19,198	19,581	98,535	
活用を想定する 補 助 制 度 等	—						
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・ 審査会において圏域内の審査判定事務を実施する。 ・ 連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。					
	連携町村	・ 八戸市が設置する審査会において実施する審査判定事務について、住民に情報を提供する。 ・ 関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。					

(5) 中小企業従事者の福祉向上

① 取組内容

中小企業従事者の福祉向上を図るため、八戸市勤労者福祉サービスセンターの会員資格を圏域内の中小企業従事者に拡大する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	58	勤労者福祉サービスセンター事業	関係市町村	全市町村		
内容	・圏域の中小企業の従業員の福利厚生事業を実施する。 ・勤労者福祉サービスセンターへの加入を促進する。					
効果	・福利厚生経費の負担軽減を図ることにより、圏域中小企業の経営安定化が図られる。 ・圏域中小企業勤労者の福祉の向上、地域企業の振興、地域社会の発展につながる。 ・圏域中小企業の福利厚生等の充実を図ることにより、早期離職者の減少が期待できる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	会員数		1,434人 (H28年)		1,454人 (R4年)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	2,365	2,362	2,331	2,907	3,056	13,021
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・サービスセンターの運営にあたる。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・広報紙等により加入促進活動を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

(6)消費者支援の充実

① 取組内容

消費者支援の充実を図るため、消費生活に係る意識啓発・相談体制の充実・強化等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	59	消費生活に係る意識啓発・相談体制の充実・強化	関係市町村	全市町村		
内 容	・八戸圏域消費生活相談事業を行う。 ・消費者講座及び若年者向け出前消費者講座を開催する。					
効 果	・専門相談員の対応により、住民サービスの向上が図られるとともに、広域的な情報収集が可能となることから、圏域全体の消費者被害の未然防止や早期解決が図られる。 ・広域的な消費者教育・啓発事業の推進により、圏域全体の消費生活に関する知識の向上及び消費者被害の未然防止が図られる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	消費者講座への参加者数		1,319人 (H27年度)		1,700人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	11,537	11,377	11,924	13,370	14,162	62,370
活用を想定する補助制度等	地方消費者行政推進事業費補助金(消費者庁)					
関係市町村の役割分担	八戸市	・圏域住民からの消費生活相談に対応する。 ・八戸市消費生活センターの維持・充実を図るための事業を行う。 ・消費者講座の企画、実施及び周知広報を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・八戸市消費生活センターと連携する相談窓口を設置する。 ・消費者講座の企画及び実施への協力、周知広報を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

(7) 社会教育の充実

① 取組内容

社会教育の充実を図るため、圏域市町村が実施する講座開催の情報交換を行うとともに、社会教育施設の相互利用を図る等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	60	生涯学習情報提供事業	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸市民大学講座や関係市町村が実施している講座などについて、圏域内の情報を収集・共有する体制を整備する。 ・広報紙やホームページなどの広報媒体を活用して地域住民への周知を強化する。					
効果	・生涯学習情報を相互に収集・共有することにより、圏域住民の学習機会の選択肢が増える。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	市民大学講座受講者数 と修了者数		6,526人/132人 (H27年度)		6,600人/140人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	7,376	8,054	8,516	8,241	7,890	40,077
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・生涯学習情報の相互情報提供体制を整備する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村					

事業名	61	図書館相互利用事業	関係市町村		全市町村	
内 容	・圏域内住民であれば、関係市町村が定める図書館・図書室において、身分証明書の提示等により、利用者登録し、貸し出し可能とする。 ・圏域内の保育園・幼稚園や小学校、団体等に団体貸し出しを行う(※)。 ・図書館の相互利用について周知を行う。 ※圏域内への団体貸し出しを可能としている図書館・図書室に限る。					
効 果	・圏域内の図書館・図書室の利用者並びに交流人口の増加が見込まれる。 ・従来であれば、利用者が居所以外の図書館を利用する際、居所の図書館から青森県内図書館共通利用券の発行を受ける必要があるが、その手間を省き、利用者の利便性向上を図る。 ・本に触れ合う機会の創出、増加を図る。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	人口100人当たりの貸出冊数		277冊 (H27年度)		297冊 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	—	—	—	—	—	—
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・関係市町村と連携し圏域内における図書館・図書室の利活用を推進するとともに、図書館・図書室の充実を図る。				
	連携町村					

(8) 学校教育の充実

① 取組内容

学校教育の充実を図るため、文化・スポーツ施設等の公共施設を活用した広域的な体験学習を支援する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	62	広域的体験学習支援事業	関係市町村		全市町村	
内 容	・圏域内にある公共施設を活用した体験学習を行うことにより、児童の生きる力を育む。 ・圏域内の小学生が、施設を利用した体験学習を行う際のバス借上料及び入館料を支援する。					
効 果	・圏域内の施設を活用した体験学習を行うことにより、児童の心にもふるとへの「愛着」や「誇り」を育むことが期待される。 ・圏域内の公共施設の相互活用を進めることにより、体験プログラムの充実が期待される。 ・体験活動や教育活動の充実が期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	圏域内小学校の利用割合		80% (H27年度)		90% (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	7,935	8,513	8,292	9,400	9,414	43,554
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・各校からの体験活動計画や申請を取りまとめる。 ・バス会社との契約や公共施設との連絡、経費の支出事務を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・町村内の小学校へ事業の周知と連絡を行う。 ・町村内の公共施設に事業の周知と連絡を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

(9) 高等学校の地域活動促進

① 取組内容

高等学校の地域活動を促進するため、地域と高等学校の交流を図るとともに、生徒の地域活動に対して助成する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	63	高校生地域づくり実践プロジェクト		関係市町村		全市町村	
内 容	・高等学校の生徒が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決等を目的とした事業又は活動の企画に対して助成金を交付する。 ・助成事業終了後には事業の成果報告会を開催し、地域等と高等学校・生徒の交流促進を図る。 ・高等学校による地域活動の促進を図るため、高等学校及び地域住民を対象としたセミナーや高校生を対象とした交流会を開催する。						
効 果	・地域が持つ様々な地域課題の解決等に取り組むことにより、地域課題に対する当事者意識、地域への愛着や誇りの醸成につながる。 ・地域の活性化に携わる経験を通じて、地元定着の促進や大学等への進学後に、より実践的に課題解決する熱意と専門性を持った人材に成長して、地域に帰ってくることが期待される。 ・地域活性化の活動等を通じて、地域人材の育成を担う高等学校に対する地域内外の評価向上や学校の魅力化につながる。						
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)		
	地域活動支援件数 【累計】		—		20件 (R3年度)		
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計	
	1,096	1,019	750	1,619	1,611	6,095	
活用を想定する 補助制度等	—						
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・事業全般の実施及び進捗管理を行う。 ・事業の周知や申請内容に対する関係課及び関係町村への意見照会、高等学校と関係機関、地域等とのコーディネートを行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。					
	連携町村	・事業の周知や申請内容に対する関係課への意見照会の取次ぎのほか、高等学校と関係機関、地域等とのコーディネートを行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。					

(10) スポーツ活動の機会の充実

① 取組内容

スポーツ活動の機会充実を図るため、八戸市が実施しているスケート振興に係る対象者を圏域内の町村に拡充する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	64	氷都八戸パワーアッププロジェクト	関係市町村		全市町村	
内 容	・ 八戸市が実施している次の事業について、対象を連携町村にも拡充し、スケート振興を図る。 1) 幼稚園・保育所・小学校のスケート教室への指導者派遣 2) 小学生を対象としたスピードスケート教室の開催 3) 中学生選手へのスケート用具購入に係る費用の一部負担					
効 果	・ スケートに親しむ子ども達の増加や、小中学生の競技人口増加と競技力向上が図られ、圏域のスケート場の活用促進につながる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	スピードスケート教室の実施回数		9回 (H27年度)		9回以上 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	3,758	6,956	2,434	2,864	3,647	19,659
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・ 当該事業の対象区域を拡大し、圏域住民の利用に供する。 ・ 連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・ 当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。 ・ 関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	65	スキー場活用促進事業		関係市町村	全市町村	
内 容	・ 田子町が町在住の小学生から高校生までを対象に実施している創遊村 229 スキーランドのシーズン券事前予約割引について、対象を圏域市町村在住の小中学生、高校生に拡大して実施する。 ・ 上記割引の実施と併せて、創遊村 229 スキーランド及び新郷村営金ヶ沢スキー場の PR を行い、両スキー場の活用促進を図る。					
効 果	・ 圏域のスキー場の活用促進が図られるとともに、冬季スポーツ（スキー・スノーボード）の振興につながる。 ・ 冬季スポーツに親しむ子ども達が増えることにより、競技人口の増加と競技力向上が期待される。					
成 果 指 標	指 標		現状値（調査時点）		目 標 値（達成年・年度）	
	創遊村 229 スキーランドの事前予約シーズン券利用者数		80 人 (R1 年度)		190 人 (R3 年度)	
事業費見込額 （単位：千円）	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	計
					—	—
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八 戸 市	・ 当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。				
	連携町村	・ 当該事業を住民に周知し、積極的な活用を促進する。 ・ 田子町においては、シーズン券事前予約割引に係る事務を行う。				

事業名	66	体育施設情報共有化事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・圏域内の体育施設の情報を収集・整理し、施設情報をまとめたホームページを作成する。					
効 果	・圏域内の体育施設の情報が分かりやすくなることにより、相互利用の促進が期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	ホームページPV数		－		20,000PV (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		－	－	－	－	－
活用を想定する 補助制度等	－					
関係市町村の 役 割 分 担	八 戸 市	・各種情報をまとめたホームページを作成し、連携町村と連携して情報発信を行う。				
	連携町村	・関係市町村と情報を共有し、連携して情報を発信する。				

事業名	67	スポーツ大使派遣事業		関係市町村		全市町村	
内容	・八戸圏域の教育機関の要請に応じ、八戸市スポーツ大使(団体に限る)を派遣し、大使の豊かな経験や実績をもとに講演や体験教室(「八戸市スポーツ大使ふるさとセミナー」)を開催する。						
効果	・八戸市スポーツ大使ふるさとセミナーを通じて、地元スポーツチームに親しみ、郷土への愛着や誇りを醸成する。						
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)		
	大使派遣件数		2件 (H29年度)		13件 (R3年度)		
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計	
			53	115	115	283	
活用を想定する 補助制度等	—						
関係市町村の 役割分担	八戸市	・教育機関の要望をとりまとめ、八戸市スポーツ大使との連絡調整を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。					
	連携町村	・教育機関への事業周知及び要望のとりまとめを行う。 ・八戸市との連絡調整を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。					

(11) 不法投棄の防止

① 取組内容

廃棄物の不法投棄を防止するため、圏域内各市町村が共同して対策を講じる等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	68	不法投棄防止事業	関係市町村		全市町村	
内容	・ 関係市町村が共同して、パトロールの実施、監視カメラ、センサーライト、不法投棄防止看板の設置、広報活動の強化など、不法投棄防止のための各種対策を講じる。					
効果	・ 関係市町村が共同して、不法投棄防止のための各種対策を講じることにより、不法投棄者への抑止力となり、不法投棄の減少につながることを期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	合同パトロールの実施回数		年1回 (H27年度)		年1回以上 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
						➡
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・ 各種不法投棄防止対策を共同して実施する。 ・ 必要な費用を負担する。				
	連携町村					

(12) 安全・安心なまちづくりの推進

① 取組内容

安全・安心なまちづくりを推進するため、災害や暮らしの安全・安心に関する情報の電子メールによる配信及びその利用者の拡大を進めるとともに、福祉避難所を指定する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	69	安全・安心情報発信事業		関係市町村		全市町村	
内容	・関係市町村の住民ニーズに合わせた各種情報や災害情報などを各市町村が独自に発信する。 ・ホームページ、チラシ配布等により加入促進啓蒙活動を行う。						
効果	・圏域内の各市町村の安全・安心情報をメールにて入手することにより、災害や犯罪に対して、初期の段階で対応することができる。						
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)		
	登録件数割合		16.69% (H27年度)		26% (R3年度)		
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計	
	2,212	4,601	3,569	6,282	3,667	20,331	
活用を想定する補助制度等	—						
関係市町村の役割分担	八戸市	・関係市町村が安全・安心に関する独自の情報を配信できる安全・安心情報システムの構築及び改修を行い、当該作業に要する費用を負担する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。					
	連携町村	・同システムを活用し、住民に安全・安心情報メールを配信する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。					

事業名	70	福祉避難所の設置及び 圏域での相互利用		関係市町村		全市町村						
内容	・災害時において、特別な配慮が必要な方を受入対象としている福祉避難所について、民間福祉施設などを当該避難所に指定し、圏域での相互利用を促進する。											
効果	・福祉避難所を整備し、災害時に相互利用を行うことにより、災害時の安全・安心が推進される。											
成果指標	指標			現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)						
	福祉避難所数			166箇所 (H27年度)		176箇所 (R3年度)						
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		計	
	――										➡	
活用を想定する 補助制度等	――											
関係市町村の 役割分担	八戸市		・福祉避難所の指定を行う。									
	連携町村		・要配慮者の受入れ及び関係市町村が所管する施設の整備に要する費用を負担する。									

事業名	71	危険空き家対策のための 合同研修会等の開催		連携市町村	全市町村	
内容	・各市町村における危険空き家等対策の現状・課題を整理し、情報交換や意見交換を行う。 ・必要に応じ、専門家や先進自治体職員を招く等して、研修会を開催する。					
効果	・各市町村が抱えている危険空き家等に関する課題解決の一助となることが期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	研修会の開催回数		—		2回 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		52	113	182	195	542
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・研修会、意見交換会等を開催する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・研修会等の企画に参画するとともに、当該研修会等に職員を参加させる。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	72	国土強靱化地域計画推進事業	関係市町村	全市町村		
内容	・H30年度に国土強靱化地域計画を連携市町村合同で策定する。 ・R1年度以降は、計画推進に向けた情報共有及び協議を行い、圏域全体の強靱化の取組を推進する。 ・必要に応じて計画の見直しを行う。					
効果	・国土強靱化地域計画に基づいた施策を圏域全体として推進することにより、強靱な地域の形成が図られる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	合同会議の開催数 【累計】		—		7回 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		7,339	77	216	190	7,822
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・計画策定及び推進のため、連携町村への情報提供や助言、調整を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・データの提供や資料を作成する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

B 結びつきやネットワークの強化

(1) 地域内外の住民との交流・移住促進

① 取組内容

地域内外の住民との交流を促進するため、移住や結婚に関する支援を行う等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	73	移住・交流推進事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・圏域の魅力や関係市町村の各種情報・取組などを紹介したPRパンフレットを作成する。 ・パンフレット掲載情報のほか、圏域のより幅広い情報を集約した移住・交流ポータルサイトを活用し、PRを強化する。 ・首都圏での移住相談会を共同開催するほか、関係団体主催の移住交流イベントなどへ共同で出展する。 ・「移住コーディネーター」や「定住支援員」を圏域内に配置し、八戸市東京事務所内の「観光・UJIターン窓口」などと連携するなど、移住希望者等の様々な要望や相談に対応する体制を構築する。					
効 果	・大規模な需要が潜在している首都圏に向けて、関係市町村それぞれの持つ魅力を一体的に発信することにより、様々なニーズやライフスタイルに対応した多様な魅力を持った圏域であることをアピールでき、移住・交流の促進につながる。 ・移住相談に適切に対応できる体制を構築・強化することにより、移住・交流の促進につながる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)	目標値(達成年・年度)		
	移住相談件数		99件 (H27年度)	297件 (R3年度)		
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	9,580	7,756	4,573	4,397	4,000	30,306
活用を想定する 補助制度等	特別交付税(移住・定住対策)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・関係市町村の移住・交流に係る情報を取りまとめ、パンフレットの作成やポータルサイトの開設・運営を行うとともに、移住相談窓口の設置・運営を行う。 ・圏域における移住・交流の促進に向けた取組に係る調整・取りまとめを行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・移住・交流に係る情報を八戸市に提供する。 ・共同して移住・交流の促進に向けた取組を実施する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	(11)	八戸都市圏交流プラザ事業 【再掲】	関係市町村	全市町村		
内 容	・八戸都市圏交流プラザ「8base」を首都圏に設置し、八戸圏域の食材をふんだんに活用したメニューの提供や、圏域ならではの物産販売を展開するとともに、人と人が触れ合うイベントなどの交流機能を継続的に展開することで、八戸圏域の強みである「食」の魅力を核としつつ、「人や文化、ライフスタイル」など、多様な魅力を継続的かつ直接的に発信する。					
効 果	・八戸圏域で連携して実施することで、効果的なプロモーションによる地場産品の販路拡大や、八戸圏域のブランド構築につながることを期待される。 ・八戸圏域のファンづくりや、関係人口の形成・拡大が図られるとともに、将来的な圏域への移住・定住へとつながることが期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	来店者数 【累計】		—		98,000人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
				98,512	50,000	148,512
活用を想定する 補助制度等	地方創生推進交付金(内閣府)					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・交流プラザの運営に係る費用負担 ・地場産品の販路拡大及び関係人口の形成・増加に向けたPR事業の実施 ・八戸都市圏交流プラザ運営協議会への参画				
	連携町村	・地場産品の販路拡大及び関係人口の形成・増加に向けたPR事業の実施 ・八戸都市圏交流プラザ運営協議会への参画				

事業名	74	縁結び支援事業	関係市町村	全市町村		
内 容	・関係市町村で連携して若者の出会いを創出する組織を設立する。 ・圏域の結婚支援に関する情報を共有して相互に情報発信を行う。 ・商工業関係者等の民間とも連携し、地域特性に合った結婚支援を共同で実施する。					
効 果	・関係市町村が連携して情報発信し、若者に対する「出会いの場」の創出・拡大が図られることにより、結婚に向けた機会の増加が期待される。 ・事業をとおして、八戸圏域に対する文化的理解の深化を図ることにより、若者の定住意識の高揚が期待される。 ・情報伝播による圏域における若者の結婚を支援する機運の醸成が期待される。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	参加者数		—		120人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	2,000	2,000	2,000	0	2,000	8,000
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八 戸 市	・地域特性に合った結婚支援に係る事業を実施する。 ・結婚支援に係る情報の取りまとめと情報発信を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・地域特性に合った結婚支援に係る事業を実施する。 ・結婚支援に係る情報を八戸市へ提供する。 ・八戸市から提供された情報を住民に発信する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	75	八戸圏域活性化支援事業	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸圏域における営利を目的としない団体等が行う圏域の活性化に資する事業に対して、経費の一部を助成する。					
効果	・圏域で活動する団体の自発的な取組を支援することにより、圏域内外の住民との交流促進が期待される。 ・事業を通じて、圏域の活性化を担う人材の育成が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	助成金交付件数 【累計】		—		32件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		1, 274	579	2, 400	2, 400	6, 653
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・事業における事務全般を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・団体等への制度周知を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	76	住民活動保険制度	関係市町村	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、新郷村、おいらせ町		
内容	・行政が契約者となってあらかじめ保険料を負担し、住民活動中の様々な傷害事故や賠償責任を総合的に補償する住民活動保険を導入する。 ・圏域住民が安心して活動することができる環境の構築を図る。					
効果	・住民の保険料負担及び加入手続きが不要となり、事務的・経済的負担の軽減につながる。 ・まちづくりの主体である住民が安心して活動に参加することができる環境の構築が図られる。 ・圏域内で多様な住民活動が展開されることにより、活力に満ちた地域社会が実現する。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	対象事故件数 【累計】		—		30件 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
		2,843	2,599	2,092	3,385	10,919
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・住民活動保険の契約に係る事務全般を行う。 ・住民への当該事業の周知を行う。 ・住民からの保険金請求の受付を行う。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・住民への当該事業の周知を行う。 ・住民からの保険金請求の受付を行う。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

事業名	77	公共交通による交流促進事業	関係市町村	全市町村		
内容	・公共交通と関係市町村の地域資源を連携させた取組を実施する。					
効果	・公共交通を軸とした圏域内外の住民との交流促進と圏域の活性化が期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	バスパック利用者数		1,400人 (H27年度)		1,540人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位:千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
			5,937	4,791	6,000	16,728
活用を想定する補助制度等	—					
関係市町村の役割分担	八戸市	・連携町村と協力し、公共交通と地域資源を連携させるバスパックなどの取組を展開する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・関係市町村と協力し、公共交通と地域資源を連携させるバスパックなどの取組を展開する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

C 圏域マネジメント能力の強化

(1) 圏域内市町村職員の育成

① 取組内容

圏域内市町村職員の育成を図るため、合同研修を開催する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	78	職員合同研修の開催	関係市町村	全市町村		
内容	・八戸市が実施している各種職員研修プログラムについて、連携町村職員に参加の機会を提供する。					
効果	・職員の資質と能力の向上が期待できる。 ・関係市町村職員間の交流により、人的なネットワークの広がりが期待される。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	圏域内市町村職員の 資質と能力の向上 及び各市町村職員間 の交流の満足度		—		80% (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	1,451	1,639	1,661	1,991	2,117	8,859
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・職員研修を行う際に、連携町村職員に対して当該研修への参加の機会を提供するとともに、必要に応じて専門家の招へい等を行う。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・八戸市が実施する職員研修に職員を派遣する。				

(2) 女性の活躍促進

① 取組内容

女性の活躍を促進するため、女性チャレンジ講座を開催する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	79	女性チャレンジ講座開催事業	関係市町村	全市町村		
内容	・女性を対象としたビジネススキル養成講座や行政講座などを開催する。					
効果	・講座の受講により、職場などでの地位向上に必要なビジネススキルの習得や参加者同士の職業・業種を超えたネットワークの構築、参加者の自己啓発・自己研鑽につながる。					
成果指標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	女性チャレンジ講座 受講生数 【H23年度からの累計】		125人 (H27年度)		230人 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	1,407	1,363	1,443	1,707	1,720	7,640
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・事業計画案を作成するとともに、受講生募集チラシ作成する。 ・必要な費用を負担する。				
	連携町村	・事業内容を提案する。 ・募集チラシの内容を提案する。 ・受講生募集や周知を行う。				

(3) NPO等の活動促進

① 取組内容

NPO等の活動を促進するため、八戸市市民活動サポートセンターが有する機能を圏域に拡大する等、各種連携事業に取り組む。

② 具体的な事業

事業名	80	八戸圏域住民活動促進事業	関係市町村		全市町村	
内 容	・「市民活動サポートセンター」登録対象を「活動地域に圏域内市町村が含まれる住民活動を行う団体に拡大する。 ・ホームページや情報誌などにより、住民活動に関する情報の収集・提供を行う。 ・情報交流サロンやワークステーションなどの施設及び設備を提供する。 ・交流会の開催などによる登録団体間のネットワークづくりを行う。 ・住民活動を行う団体の設立や運営などに関する各種相談業務を実施する。					
効 果	・住民活動の登録の対象を拡大することで、圏域全体における地域づくりの担い手となる団体の存在や活動の把握につながる。 ・「市民活動サポートセンター」を核に関係市町村が連携を強化し、センターが有する機能を活用することで、圏域内の住民活動を行う団体の自立的・継続的な活動の促進につながる。					
成 果 指 標	指標		現状値(調査時点)		目標値(達成年・年度)	
	「市民活動サポートセンター」登録団体数		207団体 (H27年度)		240団体 (R3年度)	
事業費見込額 (単位：千円)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	計
	8,483	8,791	8,934	9,140	9,269	44,617
活用を想定する 補助制度等	—					
関係市町村の 役割分担	八戸市	・「市民活動サポートセンター」において、圏域内の住民活動を行う団体の登録及び施設・設備の提供、各種相談業務などを行う。 ・住民活動に関する各種情報を収集し、関係町村及び圏域住民に提供する。 ・連携町村と協議の上、必要な費用を負担する。				
	連携町村	・八戸市から提供を受けた各種情報を発信する。 ・住民活動の促進を図る講座などを実施する際の場を提供する。 ・「市民活動サポートセンター」のPR、住民活動を行う団体の交流促進に向けた取組へ参画する。 ・関係市町村と協議の上、必要な費用を負担する。				

4 推進体制

(1) 八戸圏域連携中枢都市圏関係市町村長会議

圏域内の市町村の長により構成し、連携中枢都市圏の取組に関する連絡調整を図るため、毎年度、会議を開催する。

また、実務的な調整・検討を行うため、次の会議を必要に応じて開催する。

① 関係市町村担当課長会議

圏域内の市町村の企画担当課長で構成し、関係市町村長会議やビジョン懇談会へ付議する案件の協議・検討、圏域内の全体調整等を行う。

② ワーキング・グループ会議

連携する事業の分野毎に、圏域内の市町村の実務担当で構成し、具体的な事業内容の協議・検討等を行う。

③ 庁内連絡会議(八戸市)

連携事業を所管・実施する担当課長で構成し、連携事業に関する協議・調整等を行う。

(2) 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会

圏域内の民間や地域の関係者で構成し、連携中枢都市圏ビジョンの進捗管理や策定に当たって、関係者の意見を幅広く聴取するため開催する。

付 属 資 料

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会開催要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、人口減少・少子高齢社会にあっても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的とした連携中枢都市圏を八戸圏域において形成するに当たり、圏域の将来像や連携協約に基づき推進する具体的な取組内容等を記載する八戸圏域連携中枢都市圏ビジョンの策定及び変更に関する事項について、地域の関係者等から意見聴取を行うため、八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会(以下「懇談会」という。)を開催することとし、その運営等について必要な事項を定めるものとする。

(構成員)

第2条 懇談会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 連携中枢都市圏構想推進要綱(平成28年4月1日総行市第31号一部改正)第5の(2)④に規定する連携する取組に応じた関係者等
- (2) 圏域町村から推薦された者
- (3) その他市長が必要と認める者

2 前項の場合において、市長は原則として、同一の者に継続して懇談会への出席を求めるものとする。

(会議の招集)

第3条 懇談会の会議は、市長が招集する。

(会議の運営)

第4条 懇談会の議事進行は、八戸市総合政策部政策推進課長(以下「課長」という。)が行うものとする。

2 課長は、意見聴取に係る円滑な進行を図るため、懇談会の出席者の中から適任と思われる者を座長に指名することができるものとする。

3 懇談会の会議は、原則公開とする。

(庶務)

第5条 懇談会の庶務は、八戸市総合政策部政策推進課において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成28年5月9日から実施する。

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員名簿

(敬称略・順不同)

分 野		氏 名		所 属 等
産業	商工業	1	山内 隆	八戸商工会議所 専務理事
	観 光	2	在家 秀則	一般財団法人 VISITはちのへ 専務理事
	農 業	3	水越 善一	八戸農業協同組合 代表理事常務
大学・研究機関		4	武山 泰	学校法人 八戸工業大学 システム情報工学科 教授
		5	田中 哲	学校法人 光星学院 八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 教授
		6	佐藤 勝俊	独立行政法人 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校 名誉教授
金融機関		7	工藤 貴博	八戸金融団 会長
医 療		8	奥寺 良之	一般社団法人 八戸市医師会 副会長
福 祉		9	浮木 隆	社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会 事務局長
教 育		10	油川 育子	八戸市教育委員会 委員
地域公共交通		11	高橋 学	岩手県北自動車株式会社 南部支社 支社長
雇 用		12	吉田 博充	連合青森三八地域協議会 議長
男女共同参画		13	白鳥 祐子	前八戸市男女共同参画審議会 会長
構成町村	三 戸 町	14	釜澤 英文	三戸町商工会 副会長
	五 戸 町	15	倉橋 隆穂	元五戸町役場 総務課長
	田 子 町	16	高沢 靖直	元田子町役場 参事
	南 部 町	17	沼畑 俊吉	NP0法人青森なんぶの達者村 代表理事
	階 上 町	18	長根 工	階上町商工会 事務局長
	新 郷 村	19	木村 良一	社会福祉法人 新郷村社会福祉協議会 会長
	おいらせ町	20	木村 雅行	おいらせ町観光協会 会長・おいらせ町商工会 会長

オブザーバー	鈴木 章弘	青森県 総務部 市町村課 総括主幹
	武田 有加	青森県 総務部 市町村課 主事
	上野 茂樹	青森県 三八地域県民局 地域連携部 副参事(地域支援チームリーダー)

※令和3年2月時点の構成員

※所属・職名は構成員として参画時のもの

八戸圏域の「愛称」と「ロゴ」について

1 愛称 八戸都市圏スクラム ^{エイト}8

2 ロゴ



1 $8 = 8 + S$

○「8」と「S」が重なり合い、スクラムを組んでいるイメージを表す。

○また、水色は8市町村を流れる「川」を、紺色は「海」を表し、圏域が川と海を介してつながり、「人」や「もの」が循環している状態をイメージ。

2 8

○8市町村(八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)を表す。

3 S

○SCRUM(スクラム)の頭文字。スクラムを組むように一丸となって連携し、同じ目的に向かって一つの方角を向いている状態を表す。

4 ★

○八角の星は、8市町村が協力し合うことでひとつの星(一番星)となり、未来(希望)に向かって進んでいくことを表す。

○赤色は圏域の活力や積極性をイメージ。

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン 《具体的取組編》

平成 29 年 3 月 22 日策定

令和 3 年 3 月 23 日変更

■発行：八戸市

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目 1 番 1 号

TEL. 0178-43-2111 FAX. 0178-47-1485

ホームページアドレス <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>

■編集：八戸市 総合政策部 政策推進課